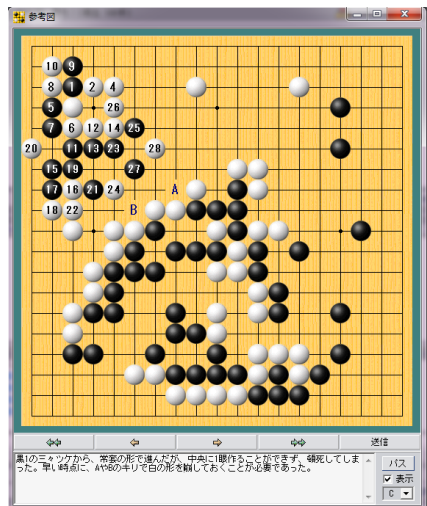


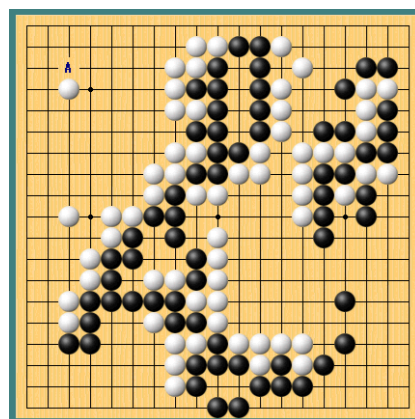
#### 41. 白隅での頓死を避けるための研究（白小目の場合:補足）

【55-6 図】（再掲）



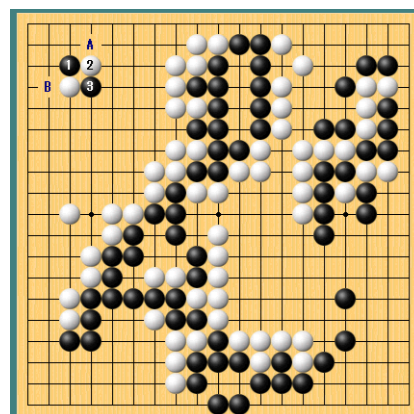
【55-6 図】（再掲）白の左上隅で生きる際、黒 3 とキリチガイを選択した場合、頓死を何度か経験したが、キリチガイから生きる基本的な手順があることを記述していなかったので紹介しておく。

【83-1 図】



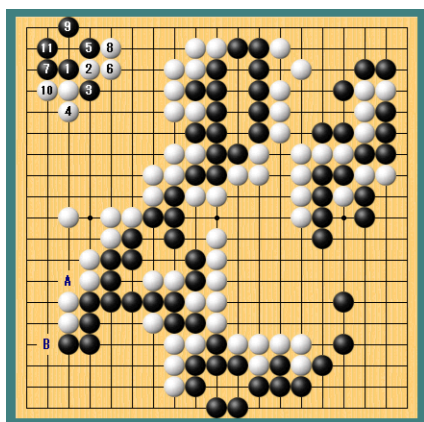
【83-1 図】「下辺左側の白を捨て気味にきた時の対応（その 1、その 2）」（p.106-110）のように、白が左下隅を捨ててきた場合、左上方面に白の勢力圏ができる。83-1 図のように、周囲がしっかり白壁となっても、黒 A から生きることができる。

【83-2 図】



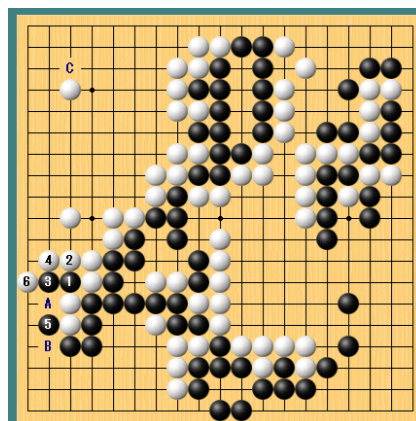
【83-2 図】黒 1, 3 と切り違えた場合、GoTrend 君の選択は A あるいは B である。この図の場合は、広い方 B である可能性が高い。いずれにしても、同形の生き方がある。そのため、早い段階で、黒 1、白 2、黒 3、白 A 又は B の交換は打っておく方がいいかもしれない。

【83-3 図】



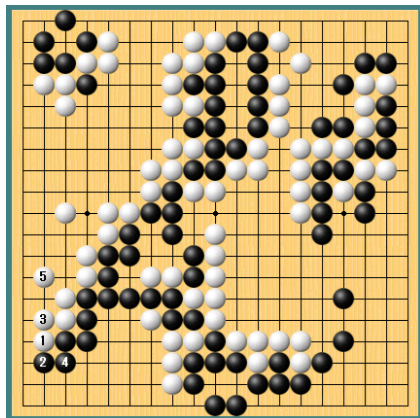
【83-3 図】黒 1、白 2、黒 3、白 4 の後、黒 5 アテ、白 6 ノビ、黒 7 ヒキで生きがある。何もしない場合と比べ、白地が 16 目削減され、黒地が 3 目できるので、黒後手 19 目の手である。

【83-4 図】



【83-4 図】一方、黒 1 と切ると、左下の黒はすでに生きているので、白 2, 4, 6 と 2 子を捨ててくるが、黒 5 までで、白 B のハネを防いでいるので、この後で、左上 C とつけるのがよさそうだ。

【83-5 図】



【83-5 図】左上隅で後手で生きて、左下を白 1 とはねられた場合、83-4 図で黒 A と抜いた図との比較で、黒地 8 目減、白地 5 目増なので、計 13 目となり、左上隅で生きる方が大きい。83-4 図の黒 5 の後、白手抜きの可能性もあるので、左上隅の前に切る場合、どこで先手をとって左上に行くか、考えどころである。